

今号の主な記事

- ◇「西宮市文化まちづくり懇話会」の委員を公募……………2面
- ◇市職員(看護師)を募集……………2面
- ◇特別行政相談所を開設……………3面
- ◇にしのみや市民祭り参加団体などを募集…4面

商店街のファンを増やそうと、パレードや獅子舞などのイベントを開催(甲子園口商店連合会など主催)



地域がにぎわい、訪れたいくなるまち 元気なまち西宮へ

市は、「産業が栄え地域がにぎわうまちづくり」を目指し、市内の産業や観光の活性化に取り組んでいます。

ここでは、本市が進める「商工業振興」「観光振興」の取り組みについて紹介します。問合せは産業振興課(0798・35・3327)へ。
※平成20年度の商工・観光施策については、本紙5面「商工特集」をご覧ください

商工業振興

商店街・市内事業者を支援
地域に密着した商店街・小売市場は、経済活動の場としてだけでなく、地域コミュニティの拠点としても重要な役割を担っています。

商店街の活性化を図るために、本市では「商業団体活性化事業」や、商店街などが大学などと連携して行うまちづくりへの取り組みを支援する「地域連携商店街等活性化支援重点モデル事業」に取り組んでいます。

また、市内事業者に対する支援策として、起業家支援事業や産学連携に向けた交流事業、中小企業者への融資支援などにも積極的に取り組み、市内商工業の振興に努めています。

開設1周年 地域ポータルサイト「西宮流」

地域ポータルサイト「西宮流(にしのみやスタイル)」(<http://nishinomiya-style.com>)を1周年を迎えました。

「西宮流」は、産業や観光、生活関連情報などを双方から発信する地域ポータルサイトです。平成18年度に市の委託を受けてサイトを構築した「西宮kite-imitte(きてみて)ネット」が運営し、このほど公開から1周年を迎えました。

サイトには、にしのみや甲子園など西宮の魅力や、新

たな視点でタイムリーに伝える特集ページのほか、市や商工会議所が主催するイベント情報なども掲載されます。また、「西宮ナビ」という情報検索ページには、店舗や事業所の基本情報を無料で掲載でき、ショッピングモールへの出品(有料)も可能です。

詳しくは西宮kite-imitte(きてみて)ネット(0798・33・5401)info@nishinomiya-style.com)までお問い合わせください。

市長からのメッセージ



山田 知市長

このたび兵庫県市長会の会長に選任され、4月22日に就任いたしました。県下29市の市長と協力し、地方分権を進め住民よいまちをつくるリーダーとしての責任の重さを改めて感じております。市民の皆さんの一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

さて、私はまちを歩いていて西宮市のにぎわいが増してきていることを実感しています。

市内人口は47万人を超え、今後も増加が見込まれます。また、昨年にはJRさくら夙川駅がオープンし、阪神西宮駅南側の駅前広場が完成、今秋には西宮北口に大型商業施設が店舗するなど、西宮市を訪れる人の新たな流れが生まれています。

産業面においても、平成18年の工業統計調査結果によれば、従業者数や製造品出荷額は増加傾向にあり、明るい兆しが見えつつあります。これまで市内産業の活性化に向けて様々な施策に取り組んできた成果が現れつつあると考えています。

地域を活性化させ、魅力あるまちづくりを進めるためには、その源である地域産業が元気であればなりません。今後も市内の事業者や市民の皆さんの取り組みを支援し、西宮のまちや産業のさらなる発展に向けて、「元気なまち西宮」づくりを進めてまいります。



お目当てのケーキに、思わずうっとり。昨年11月に開催された洋菓子園遊会



エビスタ西宮で開催された和菓子まつり。多くの買い物客でにぎわった。

観光振興

本市では、豊富な観光資源や地元産業を地域の活性化に生かしていくこと、産業活動を観光に結びつける「都市型観光」事業に取り組んでいます。

西宮市は古くから酒造業が盛んで、製造品出荷額の約8割を飲料食品関係が占める「食産業のまち」でもあります。市内事業者と共に開催する「酒ぐらルネサンスと食フェア」や洋菓子園遊会、和菓子まつりなどは、本市のブランドイメージをアピールする事業として、市内内外の人に年々定着してきています。

さらに、今年は講演会や販売会などにより「食産業のまち」としての特性をより一層打ち出す事業や、本市の観光資源の再発見・PRを行う「新西宮観光100選募集選定事業」などに取り組みほか、「西宮検定」を実施し、本市の観光振興・産業振興を図ります。